

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	icoN		
○保護者評価実施期間	令和8年4月11日		～ 令和8年4月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年4月11日		～ 令和8年4月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動等のスペースが十分に確保されている。	部屋がいくつかあり、1人になりたい利用者、何人かで遊びたい利用者で、使用する部屋を選択できるようにしている。	活動内容によってはパーテーション等を使用し、さらにスペースを区切り活動に取り組みやすくしていく。
2	活動プログラムが固定化されないようにしている。	曜日によって大きな分類は決まっているが、内容は固定されないようにチームで話し合い決めている。職員間でもしっかりと共有している。	保護者の方やお子様アンケートをとって、いろいろな視点で活動プログラムを考え取り入れていく。
3	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することができる。	クールダウン用のスペースもあるので個別対応をしている。	使用できるスペースを増やしていく。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待したことがない。	なかなか計画が進まなかった。	夏祭り等で地域の方を招待できるよう検討していく。
2	保護者会等の開催・保護者同士で交流する機会・きょうだい同士で交流する機会の少なさ。	実施はしたが回数が少ない。 きょうだい同士での交流の機会は計画はあったが実施までには至らなかった。	保護者の方の負担にならない程度に実施していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会が少ない。	暑さや寒さ、花粉等を避けるため公園等の活動は少なくなっていた。	こども園や幼稚園は難しいことありますが、公園や児童館等の外出の際に機会を増やしていく。